

チルコロ・マンドリニスティコ・フローラ創設60周年 及び高橋五郎文化庁地域文化功労者表彰祝賀会について

東北支部事務局 佐々木敬二

去る10月12日(日)、ホテルメトロポリタン仙台において上記の祝賀会が開催され、東北支部を代表して出席しました。この祝賀会は、高橋五郎氏(連盟会長兼東北支部長)が主宰するチルコロ・マンドリニスティコ・フローラが1965年の創設から60周年を迎え、併せて高橋氏が文化庁地域文化功労者表彰(令和6年11月)の栄に浴したことを記念して開催されたものです。

連盟関係者をはじめ、高橋氏と親交の深い方々が大勢駆けつけ、非常に盛り上がった会となりました。乾杯(発声は仙台日伊協会事務局長の三野宮勝氏)のあと、「高橋五郎先生のマンドリン人生」と題する動画(ikegakuTVを元にチルコロ・フローラが作成)が上映され、恩師田中常彦氏との出会い、一念発起のイタリア遊学など、まさにドラマのようなマンドリン人生を垣間見ることができました。スピーチでは、高橋氏の交友の広さを物語るように、様々な分野の第一人者の方々から温かいお祝いの言葉が寄せられました。マンドリン関係以外では、三野宮まさみ氏(ソプラノ歌手)、大場尚史氏(美術家、宮城県芸術協会名誉会員)、青野由美子氏(カメイ社会教育振興財団、カメイ美術館学芸員)の3氏から、高橋氏とのご縁についてお話いただきました。例えば大場氏は、「カメイ美術館で開催された画業50周年展覧会に際し、チルコロ・フローラが作品一点一点に合わせて演奏を披露してくれた。すると作品が動き始めるように感じられ、これまで経験したことのない感動だった。」というエピソードをご紹介くださいました。

結びに、高橋氏から心のこもった謝辞がありました。各方面への感謝の言葉のあと、イタリアで師事したニーノ・カターニア氏との思い出や、60年間のたゆまぬ研鑽を通じて得た多くの新しい発見(マンドリンと“こけし”)など、ユーモアを交えてお話くださいました。高橋氏のお人柄を表すように、最後まで笑顔の絶えない祝賀会でした。

